

## ◆一般演題報告スケジュール

時間	会場	座長	セッション番号	筆頭発表者	所属	演題名
11:00 ～ 12:00	1 階 ホ ー ル	新 開 省 二	1-1	横山 友里	東京都健康長寿医療センター研究所	健康長寿新ガイドラインの策定(その1):ねらいと策定プロセス
			1-2	本川 佳子	東京都健康長寿医療センター研究所	健康長寿新ガイドラインの策定(その2):成果物の特徴と今後の活用
			1-3	本多 数光	日清オイリオグループ株式会社 中央研究所	食生活(中鎖脂肪酸を含む多様な食材摂取)での市民の栄養状態向上の大規模研究
			1-4	山内 正恵	鎌倉薬膳アカデミー	高齢者における薬膳の活用状況とその関連要因に関する研究
			1-5	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所	セカンドライフ移行期の男女と地域との関係について:地域デビュー応援講座のフィールドから見えてきたこと
			1-6	對馬 友美子	株式会社ビデオリサーチ	「モバイルシフト」がもたらすシニアの生活行動や意識の変化についての考察:ビデオリサーチ大規模時系列データを用いた分析
11:00 ～ 12:00	S Y 2 0 4 教 室	石 橋 智 昭	2-1	松村 剛志	常葉大学 保健医療学部 理学療法学科	要介護となったパーキンソン病患者の在宅生活における運動の意味づけの変化
			2-2	植田 拓也	医療法人社団清泉会 山王リハビリ・クリニック	早朝の体操実施における身体的なリスク要因の検討:高血圧症診断の有無と治療区分による早朝の体操前後の血圧変動
			2-3	鄭 丞媛	国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部	発熱を契機として在宅を継続した者/非継続者間におけるADLの変化に関する研究
			2-4	真行寺 ひろ子		在宅医療利用者家族の立場から在宅医療を推進する活動の試み
			2-5	池内 朋子	東京都健康長寿医療センター研究所	Lower cognitive performance related to feeling younger: The Kusatsu Longitudinal Study on Aging and Health
			2-6	石橋 智昭	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団	新規要介護認定者の経年変化
11:00 ～ 12:00	S Y 2 0 5 教 室	安 藤 孝 敏	3-1	小田 利勝		選挙で投票に行く理由の世代間比較
			3-2	高橋 亮	仙台大学体育学部健康福祉学科	ジェロントロジー共育哲学の実践と今後の課題:北海道のルーツ探求による実証実践的研究
			3-3	児玉 道子	一般社団法人わがやネット	地域防災とまちづくりにおけるシニアの活用:家具類の転倒防止対策の活動から
			3-4	牛 嘯塵	桜美林大学大学院老年学研究科 老年学専攻博士後期課程	中国都市部に在住の中年世代の老親介護における介護サービスの利用希望に関する研究
			3-5	荒居 和子	桜美林大学老年学総合研究所	成人後期及び高齢期における身長と体重の変化
			3-6	萩原 真由美	株式会社社会保険出版社	「デスカフェ」—我が国の現状—

時間	会場	座長	セッション 番号	筆頭発表者	所属	演題名
14:40 ～ 15:40	S Y 2 0 4 教室	澤 岡 詩 野	4-1	安藤 雅峻	汐田総合病院リハビリテーション課	地域在住自立高齢者の社会参加に関する活動能力の関連要因
			4-2	安 順姫	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団	うつ予防教室終了後における自主グループ活動参加の実態およびその関連要因: 神奈川県C市を事例とした検討
			4-3	小池 高史	九州産業大学	高齢化する住宅団地における祭りの継続: 宗像市「日の里まつり」を事例として
			4-4	上野 佳代	千葉県立保健医療大学	エイジング・イン・プレイス実現のためのインフォーマルな場所の意味: まちの暮らしの保健室における保健医療福祉専門職へのインタビュー調査から
			4-5	吉江 妙実		地域ボランティア活動への参加意欲ある者と参加者の相違について
			4-6	澤岡 詩野	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団	都市高齢者の健康づくりを目的とした活動への関わり方と感じる魅力: 横浜市「元気づくりステーション」事業参加者における検討
15:40 ～ 16:40	S Y 2 0 4 教室	河 合 恒	5-1	菊池 和美	帝京平成大学 健康メディカル学部 作業療法学科	新総合事業に関わる高齢者が介護予防の推進に向けて必要だと考えていること: 互助の仕組みづくりとその支援の視点から
			5-2	泉 清美	一般社団法人 健康寿命世界一	健康寿命ウォーキングを通じた高齢者による介護予防と地域活動の事例: 班長制度と地域高齢者による自主運営の仕組みと効果
			5-3	田中 元基	東京都健康長寿医療センター研究所	介護予防・日常生活支援総合事業における多様な関係主体から成る協議体の分析: 意思決定プロセスの質的分析
			5-4	小澤 恵美子	元桜美林大学大学院老年学研究科	民生委員と地域高齢者がともにすすめる介護予防活動: 地域における健康体操会の自主的運営を目指して
			5-5	服部 ユカリ	旭川医科大学	地域在住高齢者に対するフォトボイスの有用性に関する予備的研究
			5-6	河合 恒	東京都健康長寿医療センター研究所	知識発現を用いた介護予防リーダー支援のためのプロセス知識の抽出と構造化
15:40 ～ 16:40	S Y 2 0 5 教室	渡 辺 修 一 郎	6-1	高橋 知也	東京都健康長寿医療センター研究所	高齢者の社会的孤立は予測可能か ～地域在住高齢者を対象とした縦断調査の結果から～
			6-2	藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所	高齢者における就労理由の差異からみた心身社会的特徴 ～ESSENCE研究より～
			6-3	鈴木 章一	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団	その1 高齢者用職業能力判定項目作成の試み: 米国のO*netを参考に
			6-4	松永 博子	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム	その2 健康調査から見た高齢者の就労状況と職業能力判定項目(高齢者用)および身体・認知機能との関連
			6-5	中村 桃美	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団	シルバー人材センター会員が実感する生きがい就業の効果
			6-6	橋本 由美子	桜美林大学大学院 博士後期課程	独居高齢者の配偶者関係からみた類型が2年間の健康状態の変化に及ぼす影響: 首都圏高齢者の地域包括的孤立研究(CAPITAL study)より